

Lucレポーター遺伝子発現系を 使ったTGR5アゴニストペプチドの 探索

B4 中村 優作

ペプチドアレイでの合成

目的

- 機械学習により予測されたTGR5活性を示すペプチドを評価するため、実際に合成する。

方法

- 上位10配列(ポジコン)と下位10配列(ネガコン)をペプチドアレイにより合成する。

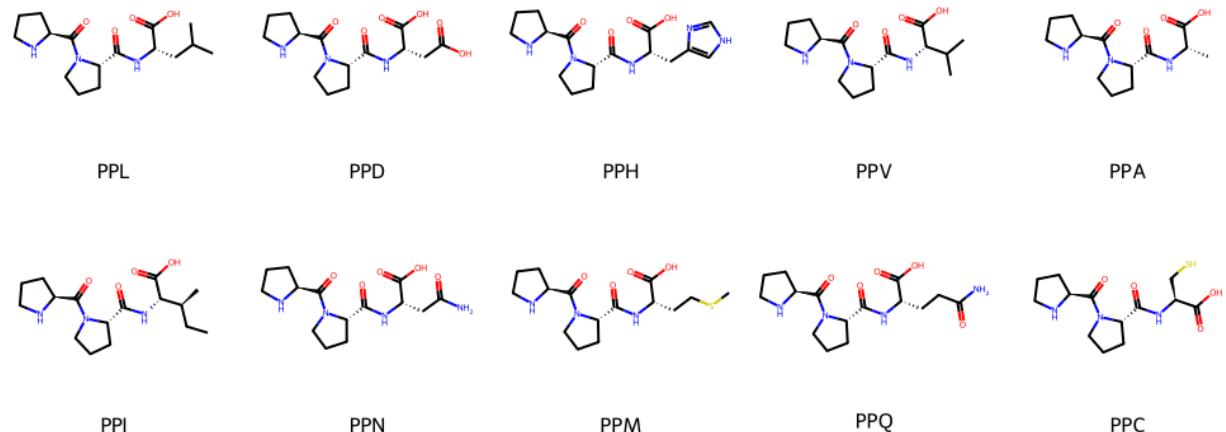
結果

- 計20配列の合成が完了した。

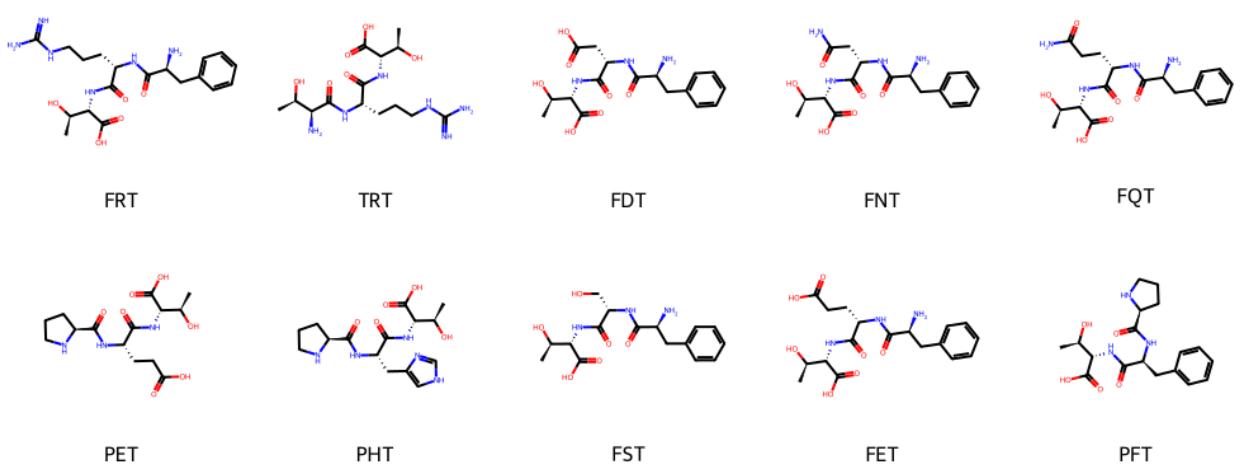
今後の方針

- 合成したペプチドを実際に評価する。
- 結果からモデルの改善、次回合成する配列の決定を行う。

予測された上位10配列

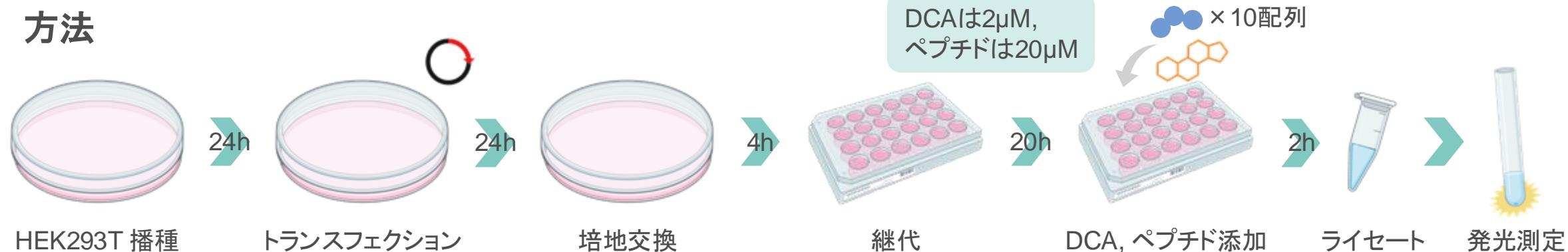


予測された下位10配列



目的: 機械学習により予測されたTGR5活性を示すペプチドを実際に評価する。

方法



播種に失敗

- 誤って大腸菌用の60mm dishを使ってしまい、細胞が接着しなかった。
- 10/23(水)に播種をして、現状は問題なく播種、継代ができている。
- 結果が出るのは11/1(金)の予定。

短期予定

	10/28～11/1	11/4～11/8	11/11～11/15
上位10配列のTGR5活性評価			
下位10配列のTGR5活性評価			
ペプチド合成			

長期予定

- 活性評価の結果を受けて、モデルの改善を試みる